



『QCサークル』誌 2026年5月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

表2～

㈱アイシン福井 取締役 上山 賢一さん

QCサークル活動の停滞という課題に直面しながらも、活動時間の固定化や上司が関与する「盛り上げ隊」の設置、年間褒賞制度の導入など、多面的な施策で再活性化に取り組んでいます。さらに、外国籍社員とのコミュニケーション向上に向けた新たなツールも活用し、現場の一体感づくりを推進しています。企業競争力を高めるためにも、QCサークル活動はとても大事なものです。この意識を社内のみinnで共有してほしいと思います。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.3～

㈱仙台村田製作所

SAWフィルタで世界トップシェアを誇る仙台村田製作所を訪ね、小集団改善活動の推進について話をうかがいました。活動時間を業務として確保する「多目的時間」や、工場長らが直接指導・助言する「独眼流道場」など独自の仕組みを導入し、人材育成と活性化をはかっています。また、KPIと結びつけた改善活動や、ラベルレス化による大幅なコスト削減事例など、現場主体で成果を生み出す取組みについて詳しく紹介します。

★特集：PDCA サイクルを上手に回すための工夫

p.9～

PDCAサイクルは、計画・実行・確認・処置を繰り返しながら職場を改善していく基本の手法です。しかし、組織で実践する際には思うように回らず、形骸化してしまうことも少なくないのではないのでしょうか。本特集では、各段階で陥りやすいポイントや注意点を整理するとともに、PDCAを継続して回し続けるための工夫を解説します。さらに、QCサークル近畿支部のサークルによる実践事例を通じて、現場で活かせる具体的なヒントを紹介します。

★サークルQ&A

ただいま出動 QCサークル119番～あなたの困りごとに寄り添います～

P.26～

カルテ 200

今月号では、活動している人が特定の数名のみで固定し、できる人がやっている状況。これでもいいですか？という質問に対し、全員参加の重要性を解説していきます。できる人が動くことは悪くありませんが、任せきりでは活動は広がりません。一人ひとりが主体的に行動することが活性化の第一歩です。行動ルールの明確化や役割分担、適正な人数構成など、全員で取り組むための具体策をわかりやすく紹介します。

★活動支援のページ：リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫 ～QCサークル活動をより楽しく進めるために～

p.28～

第5回 長続きしない、サークル活動へのやる気(モチベーション)。さあ、どうする？

QCサークル活動は、問題解決や人材育成に寄与する一方で、環境変化や働き方の多様化により、さらなる活性化が求められています。本記事では、「やる気(モチベーション)」に焦点を当て、その低下要因や維持・向上のポイントを解説。活動の停滞や燃え尽きといったケースにも触れながら、やる気(モチベーション)について考えていきます。さらに、具体的な事例を通じて、活動を活性化させるための実践的な工夫と推進者の役割も紹介していきます。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例1件、ワンポイント1件を紹介します。

体験事例：p.36～

1. トヨタ紡織㈱ 刈谷工場「SDA10Dサークル」
「～二刀流(施策実行型、問題解決型)で挑戦～セパレータ工程ハンド吸着異常撲滅」
2. 愛知製鋼㈱ 鍛造工場「エンドレスサークル」
「不具合を無くせ！～ビビリとの闘いついに決着！～」

ワンポイント：p.44～

1. 長野オリンパス㈱ 「CLeeeeN(クリーン)サークル」
「医療用コアパーツ 微小ブリズム欠け不良の撲滅」

★QC検定道場

P.50～

第5回 新製品開発、QC七つ道具(2)

「QC検定道場」では、品質管理検定(QC検定)3級の合格をめざし、レベル表にしたがって過去問題と解答、解説を紹介します。今月は、新製品開発および4月号に引き続きQC七つ道具について、過去にQC検定3級で出題された問題をとおして解説していきます。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.54～

㈱マルト 光惣菜センター「加熱調理室」

外国人技能実習生が6割を占める食品プロセスセンターにおいて、言語や文化の違いに起因する製造ミスの増加を受け、改善活動に取り組んだ事例を紹介します。日本語に触れる機会の創出や受入れ側の意識改革、教育体制の見直しなど多面的な対策を実施。相互理解を深めることで個人依存の体制を改善し、品質向上と生産性向上を実現している事例です。

★連載講座：統計的手法をマスターして仕事に活かそう

p.56～

第5回 実験計画法①

この連載では、「統計的手法をマスターして仕事に活かそう」として、問題解決型QCストーリーの基本を掲載していきます。今月は実験計画法の基礎となる「一元配置実験」を主な題材に、効用、具体的な実験計画の立て方、データの解析方法について説明していきます。登場人物のQ&Aを通じてぜひ学んでください。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail: : editotqm@juse.or.jp

